

## IP-FAX Medy (メディ) って何？

特許第4087772号(IP-FAXプログラム、IP-FAXサーバー装置及びこれらを用いたネットワーク記事配信システム)を駆使した通信プロトコルを採用し、以下の3つの機能で地域医療連携業務をサポートする支援ツールです。

### ① Medy Base (メディベース)

⇒ FAX誤送信防止機能の基本パッケージツール！

### ② Medy Report (メディレポート)

⇒ 来院報告書作成・送信機能ツールで紹介医への報告をスムーズに！もちろん受信機能も充実！

### ③ Medy Reserve (メディリザーブ)

⇒ 診療予約受付・自動応答機能ツールで確実な予約受付を！夜間自動応答・電話受付も完備！

## ① Medy Base (メディベース) FAX誤送信防止機能

- 送信毎に相手FAX機の情報を自動的に登録情報と照合し、一致した場合のみ送信されます。
- シンプル操作で、らくらくFAXが送れます。
- 一定期間送信の無い登録情報の場合、相手FAX機の情報を再び自動的に照合し、登録情報の鮮度をしっかりと保つ事が出来ます。
- 送信結果をエビデンスとして残すため、監査資料として活用できる。

### 導入前FAX送信

・個人情報保護法制定以来、情報漏洩をおそれFAXの使用を原則禁止された

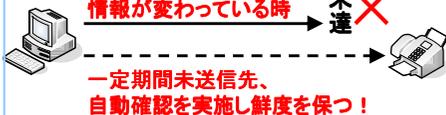


・どうしてもFAXを使用する場合は上長の承認を得て、2名体制による目録チェックを行い、送信後上長に報告しているのだが...

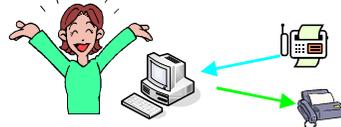
- ① パソコンから作成文書を紙出し
  - ② 紙をFAX機から、相手先ダイヤルを押して送信
  - ③ 送信後、相手先に受信確認のため電話
  - ④ 送信した紙をシュレッダーする(資源無駄)
- もっと安全で簡単にFAXを使いたい！**

### 導入後FAX送信

相手先FAX番号・情報が変わっている時



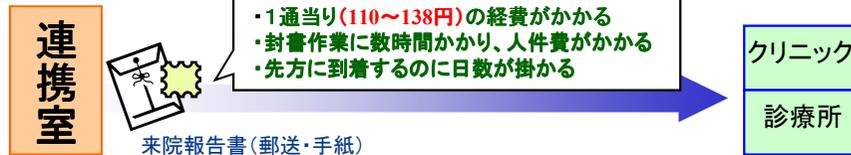
・誤送信防止機能により、人による目録チェックが不要！安全で簡単にFAXが使えるようになりました！



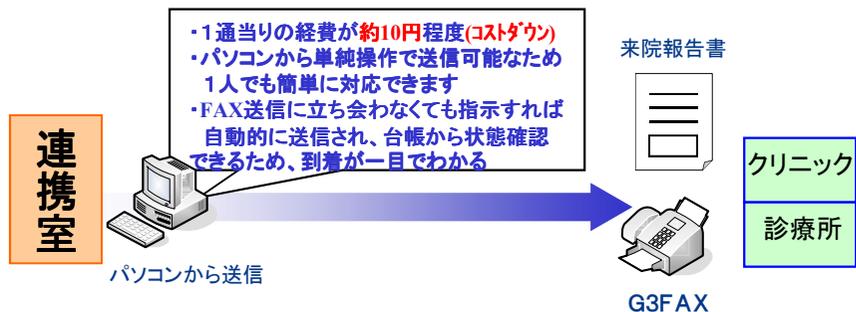
## ② Medy Report (メディレポート) 来院報告書作成・送信機能

- 来院報告書をパソコンから直接、送り先のG3FAXに送信する事が可能になります。
  - ・電子カルテやオーダーリングシステム上で作成された電子文書や手書き文書(スキャナ取り込み)をダイレクトに送信できます。
- 単純操作のため、パソコンが苦手な方でも、簡単にFAX送信できます。
- 送信情報をエビデンスとして残すことが可能なため、監査資料としてご使用もできます。(誰が、いつ、どこへ送信したか)

### Medy Report (メディレポート) 導入前の来院報告



### Medy Report (メディレポート) 導入後の来院報告



### 他にもこんな利用方法が！

- ・1回の操作で担当医表・セミナー案内・病院便り等を複数の相手先へ同報送信(順次)できる！
- ・来院報告書以外にも、中間報告書・最終報告書、診療情報提供書等もFAXにて送り、更に郵送費用をコストダウン！
- ・誤送信防止機能により、確実に相手先へ送信できる！
- ・電子カルテシステムと連結させれば、印刷の手間も無くペーパーレスでFAXが送信できる！
- ・IPFAXサーバに保管される送信履歴のエビデンスを確認することにより、誰がいつどこに送信したか把握できる！

### ③ Medy Reserve (メディリザーブ) 診療予約受付・自動応答機能ツール

■ 夜間あるいは不在時など、すぐに返答が出来ない時でも、相手先から届いたFAXに対して書類が到着している事を通知する事ができます。(着信通知FAX自動送信)

■ 電話とFAXにより予約を受付、FAXにて専用の予約票にて送信する。  
・予約に活用したデータを保存できるため、統計情報として活用する事もできます。

#### Medy Reserve(メディリザーブ) 導入前

電話には電話、FAXにはFAXにて複数で紹介医より予約を受付しているため誰が処理しているか解らなくなり、処理漏れが発生し、クレームがきた



業務が煩雑!

#### Medy Reserve(メディリザーブ) 導入後

##### 業務時間

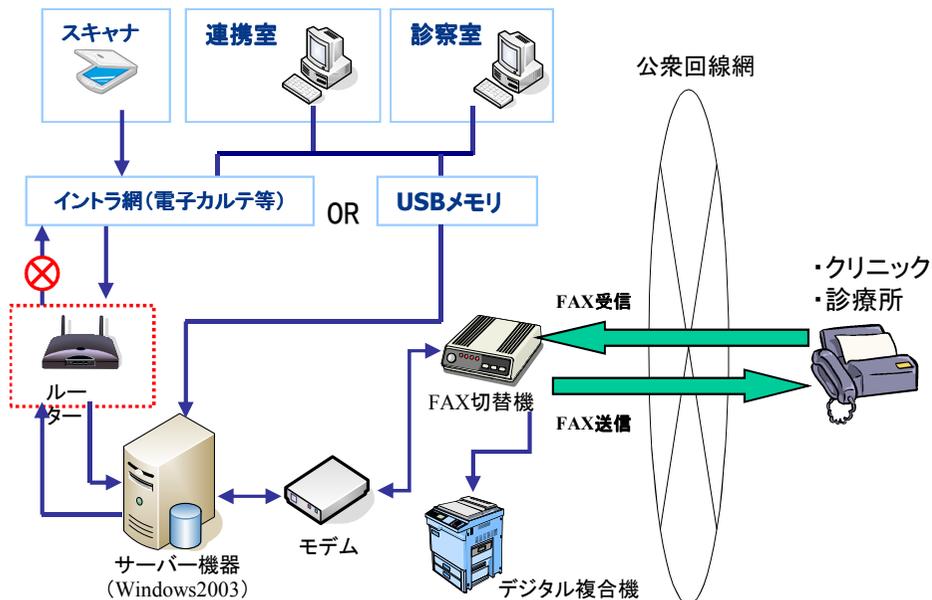
パソコンでの診療予約申込書の受付や診療予約票の返信ができる

##### 夜間

着信通知FAXを紹介医へ自動返信するので翌日FAX到着確認の電話は無くなる

#### 基本構成図

イントラネットを活用する場合、イントラネット網への侵入を防ぐ目的にてルーターが必要となります。(セキュリティ重視)



### コストダウン効果

#### ★例1 A病院様現行コスト削減シュミレーション(60通送信の場合)

■前提条件：郵送 ⇒ FAX送信切替

・郵送作業は、送付物の印刷・内容確認・封入・封緘・投函を想定しております。

・郵送料は、120円(長3形、封筒代・紙代)を対象とし計算しております。(各病院様の平均コストは、110円~138円が多いようです)

・郵送作業量は、1日当り60通として計算しております。

	通信手段	1日当り		1ヵ月当り		1年当り		年間コスト
導入前コスト	通信費(郵送)	¥120	× 60通	¥7,200	× 23日	¥165,600	× 12ヵ月	¥1,987,200
		=		=		=		
			¥7,200		¥165,600		¥1,987,200	
導入後コスト	通信費(FAX)	¥10	× 60通	¥600	× 23日	¥13,800	× 12ヵ月	¥165,600
		=		=		=		
			¥600		¥13,800		¥165,600	
								年間コスト削減費
								¥1,821,600

回収について(約12ヶ月にて回収可能です)

165,600円(現行コスト) - 13,800円(導入後コスト) = 151,800円(1ヶ月当りのコストダウン)

価格1,800,000円(注1) ÷ 151,800円 = 11.8ヶ月(初期費用は、約12ヶ月にて回収できます)

(注1) ※価格に初期導入費および年間保守費用が含まれております。

#### ■ その他にも作業の手間もはぶけます。

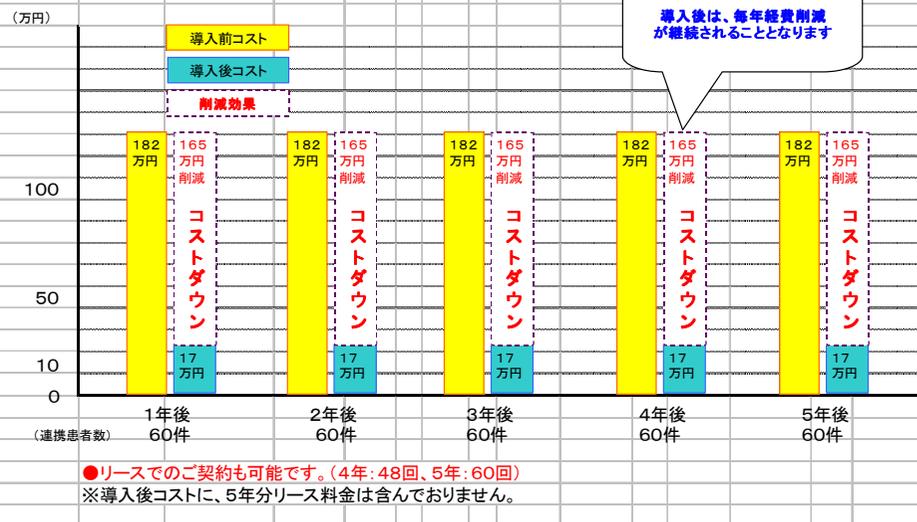
(1日60件)8hと想定すると

- 送付物の印刷
- 内容確認
- 封入
- 封緘
- 投函

(1日60件)4hになります  
余った時間を別の業務に使えます(専任不要)

・作業に余裕ができる  
・別な業務をする事が可能となる  
・パソコン上から送受信ができるため、簡単操作で送信が可能(パソコン苦手でもOK!)

#### ★導入後年間コスト削減シュミレーション(連携室のみ)



■お問い合わせ 担当 戸田 E-mail : info@sysref.co.jp

#### 株式会社システムリファレンス

〒114-0031

東京都北区十条仲原1丁目5番7号サトウショップビル4F

TEL : 03-6454-3222 FAX : 03-6454-3223

